



ライフレター



第1号 2026年5月 発行:宮城県富谷高等学校図書館

2026年度がスタートして間もなく2か月が経とうとしています。遅くなってしまいましたが、図書館からのおたより第1号を発行します！ 不定期になりますが、富高図書館の様々な情報をみなさんに伝えていきますので、ぜひ読んでくださいね♪

図書委員会からごあいさつ

<委員長 3年 Yさん>

3年連続図書委員で最後の1年なので、本の魅力を伝えられるように精一杯仕事をしていきたいと思っています。

<副委員長 3年 Hさん>

富高高校の図書館をよりよい場所にしていきたいと思っています。頑張ります！

<副委員長 2年 Kさん>

副委員長としての仕事を頑張れるように努力します。よろしくお願いします。

新しくいらした先生方のおすすめ本

【A先生】

『あきない世傳 金と銀』 高田郁 著（角川春樹事務所刊）



江戸時代中期、大阪にある呉服屋で下働きとして働き始めた少女が江戸の呉服商として成功するまでを描いた小説。次々と立ち上がる試練も、自らの才覚と、信頼で結ばれた仲間達とともに乗り越えていく。全13巻と長いですが、最後の2ページ、涙があふれました。

『さよならの言い方なんて知らない』 河野裕 著（新潮社刊）

高校二年生の主人公に届いた手紙。呼び出された手紙に書かれた場所に行くと、3体のマスコットが。突如始まる架見崎の8月。架見崎を抜け出す主人公たちの生き様をぜひご覧あれ。

「サクラダリセット」シリーズ、「いなくなれ群青」などの「階段島」シリーズで、メディア化された河野裕さんの作品です。河野さんのミステリアスな設定と登場人物の人間味が絶妙にマッチしています。この本は「架見崎」シリーズと呼ばれ、全10巻のロングシリーズです。読めば読むほど、登場人物たちの考えていることが複雑に絡み合い、誰のために架見崎から抜け出したいのか、目が離せなくなります。

ミステリー好き、SF戦闘好き、異能力系好きな生徒におすすめします。ぜひ、手に取って読んでみてください。

【W先生】



☆☆☆ みやぎ三ツ星本グランプリ ☆☆☆

みやぎ三ツ星本グランプリは、宮城県高等学校図書館研究会司書部会が毎年行っている企画です。県内の公立・市立・私立各高等学校の司書が「面白かった!」「感動した…」とお薦めする本を選び、得票数の多かった本を三ツ星本として紹介するものです。

今回は、この三ツ星本グランプリで上位になった本を展示しています。各校司書のおすすめコメントも掲示していますので、ぜひ見てみてください。



情報社会を生きる若者たち ~スマートフォンが変えた世界とわたしたち~



スマホアプリの年表もあります!

スマートフォンは、みなさんの毎日に欠かせない存在になっているのではないのでしょうか。調べもの、SNS、動画、ニュース…さまざまな情報が、手のひらの中にあふれています。

便利である一方で、その情報は本当に正しいのか、自分にとって必要なものなのかを見極める力も求められています。この展示では、スマートフォンとともに生きる私たちが、情報とどう向き合えばよいのかを考える本を集めました。

2026年は、私たちの多くが使っている【iphone】を開発しているApple社が、創業50年を迎えます。まさに“スマホネイティブ世代”の2年生(作成時は1年生)の図書委員さんが昨年度末に企画した展示です。

第6回 My Book Garden

不定期で開催する企画展示『My Book Garden』これは、司書ではない誰か(生徒でも先生でも)が自分の好きな本を好きなように展示するものです。

多くの展示は、何かテーマを決めて、それに関する本を集めて行いますが、この展示はテーマがなく、ジャンルも関係なしに自分が好きな本を紹介する、自由な企画展示です。

今回、担当してくれたのは3年生です。富高が誇る読書家さんで、これまでに読んだ本の本数は数えきれないほど…。

そんな彼女が展示してくれたのは、とにかく「おもしろかった本!」です。ジャンル問わず、ただただ「おもしろかった本」たちがとこせましと並んでいます。

今年度から始まった「わたしのひと推し本」にもチャレンジしてくれました。#(ハッシュタグ)をつけるのが意外と難しかったようです。



POPによる紹介と「わたしのひと推し本」による紹介を組み合わせて、たくさん書いてくれました♪



図書館からのお知らせ



ビブリオバトルについて

今年度から、ビブリオバトルの開催方法が変わりました！
今年度は、まず1年生のLHRで予選を行い、各クラスの代表者を決めます。その後、1年生各クラスの代表者と2・3年生の希望者で本選を行いチャンプ本を決めます。

○予選 5月28日(木) 6校時 1年生全員

◎本選 7月7日(火) 放課後 1年生代表者 + 2・3年生希望者

1年生の各クラスでチャンプ本に選ばれた人には、学習に役立つノートをプレゼント！また、富高のチャンプ本に選ばれた人は、賞状と図書カードがもらえます！！

詳細はまた次号でお知らせしますが、2・3年生の参加希望は受付開始しています。興味がある人は司書に声をかけてくださいね♪



↑昨年度の様子↓



新企画『わたしのひと推し本』始まりました！！

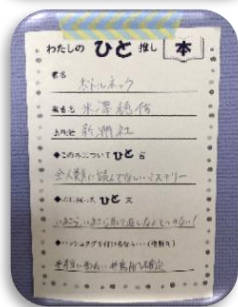


新企画「わたしのひと推し本」が始まりました！

これは、自分が読んで面白かった本を「ひと言」や「ひと文」で推す本紹介です。詳しいあらすじ紹介や長いおすすめコメントはあえて無しにして、その本の魅力を伝える企画です。その本に#(ハッシュタグ)をつけるなら・・・も記入するところがあります。

この企画は、みなさんが書いた「わたしのひと推し本」が必要になります。カウンターに色とりどりの「わたしのひと推し本」用紙が置いてありますので、自由に使ってください。

記入後は司書に提出するようにお願いします。提出してもらったものは、図書館中央の柱に掲示していきますので、みなさん、ぜひチャレンジしてみてくださいね！！



返し忘れていた本、ありませんか？

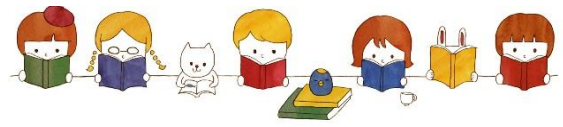
新年度になってから借りた本で、まだ返していない本はありませんか？
特に1年生は、図書館オリエンテーション時に借りた本をきちんと返したか、確認をしてください。

本を返却する時は、カウンターに持ってくるか、返却ポスト(図書館入口前・昇降口の2か所)に入れてください。

その他の図書館利用マナーと合わせて、もう一度確認しましょう。



新 着 図 書 紹 介



分類	請求記号	書 名	著者名
200 歴史	210-サ	水中遺跡はそこにある	佐々木ランディ 著
300 社会科学	360.4-ア	資本主義を半分捨てる	青木真兵 著
	361-コ	自他の境界線を育てる 「私」を守るバウンダリー	鴻巣麻里香 著
	367-ハ	「いまどきの若者」の150年史	パンス 著
	367-ミ	考察する若者たち	三宅香帆 著
	371-ヤ	スクールカウンセラーは何を見ているのか	藪下遊 著
	374-カ	素人校長ばたばた日記 県庁職員、教員免許なし、いきなり異動命じられました	川田公長 著
	376-ツ	勝手な夢を押しつける親を憎む優等生と、東大は無理とバカにされた学年ビリが、現役合格した話	坪田信貴 著
400 自然科学	491-ヒ	不夜脳 脳がほしがると本当の休息	東島威史 著
500 技術・工学	507-ト	戦艦大和復元プロジェクト	戸高一成 [著]
600 産業	674-サ	作り方を作る	佐藤雅彦 著
700 芸術	726-イ-7	BLUE GIANT MOMENTUM 7 ブルージャイアント モメンタム	石塚真一, NUMBER8 著
	726-ヤ	やなせたかしの生涯 アンパンマンとぼく	梯久美子 著
	764-タ	吹奏楽のための心づくり・体づくり	高垣智 著
	778-タ	エンピツ戦記 誰も知らなかったスタジオジブリ	館野仁美 著
800 言語	829-ミ	ハンゲルの世界 文字から韓国を知る	水野俊平 著
	837-テ-25-4	天声人語 2025冬	朝日新聞論説委員室 編
900 文学	911.5-タ	谷川俊太郎詩集	谷川俊太郎 著
	913.6-ア-2	ナースの卯月に視えるもの 2 絆をつなぐ	秋谷りんこ 著
	913.6-イ	最後の皇帝と謎解きを	犬丸幸平 著
	913.6-コ	さよならの言い方なんて知らない。	河野裕 著
	913.6-タ	あきない世傳金と銀 [1] 源流篇	高田郁 著
	913.6-ツ-14	宝石商リチャード氏の謎鑑定 [14] 再開のインコンパラブル	辻村七子 著
	913.6-ハ	問題。以下の文章を読んで、家族の幸せの形を答えなさい	早見和真 著
	913.6-フ	スウィッシュ!	藤ノ木優 著
	913.6-モ-7	満月珈琲店の星詠み [7] ～星遣いたちの夜～	望月麻衣 著
	916-ハ	平和のうぶごえ 「原爆の子」として生きた80年	早志百合子 著
	933-ラ	ノアハム・ガーデンズの家	ペネロピ・ライヴリー 著

【このおたよりに掲載した画像・書影については全て著作権許諾済みです。】

★ PICK UP ★



『最後の皇帝と謎解きを』 犬丸幸平 著 (宝島社刊 2026年)

=2025年 第24回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作=

1920年、中国。日本人絵師の一条剛は、紫禁城に住む廃帝・溥儀に水墨画の師として雇われる。剛は城で起こるさまざまな謎を溥儀とともに解き明かし…。身分も国も超えた友情×歴史ミステリー。